

国宝土偶の本質に迫る

中央公民館が縄文文化講座

茅野

茅野市中央公
民館は12、19の

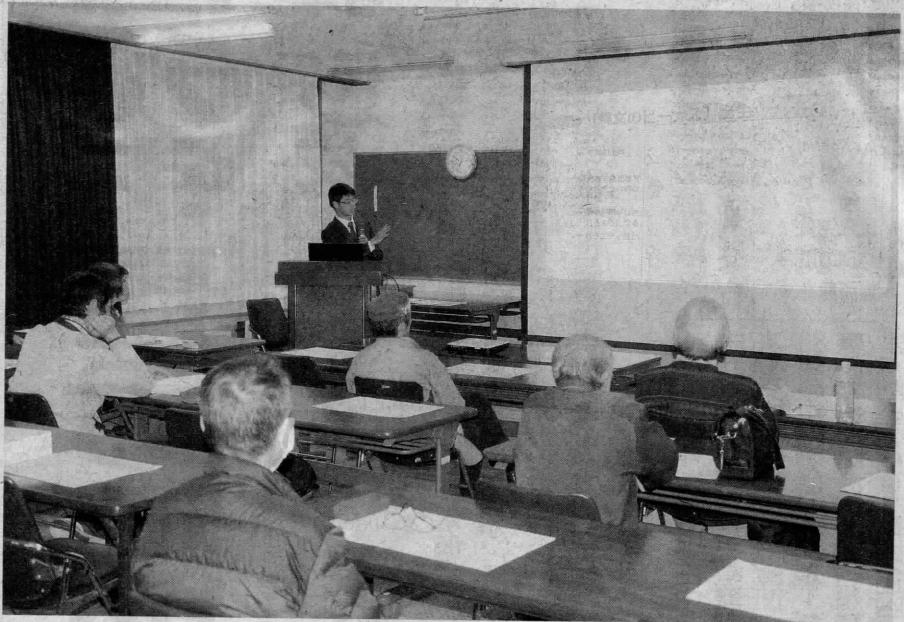
2日間、縄文文化講座を同館

『仮面の女神』その本質に迫
る国宝『縄文のビーナス』と

で開いている。「茅野市が誇
る」をテーマに、市教育委員
会文化財課の若手職員2人が
講演。27人が受講し、縄文人
の暮らしぶりや土偶に込めら
れた思いなどを学んでいる。

初日の講師は吉村璃来さ
ん。「土偶の埋納」と題して
話した。

「縄文のビーナス」は粘土
のつなぎ方や焼き方などに高
い制作技術が必要だつたと紹
介。県内外の遺跡から「縄文
のビーナス」をモデルにした
とみられる「コピー土偶」が
数多く見つかっていることか
ら、作られてから長きにわた
って祭りに使われ、遠方から
訪れた人も見ることができた
可能性があり、その後、集落
の中央近くの墓域に埋納され
たと考えられていると説明し
た。



茅野市から出土した2体の国宝土偶「縄文のビーナス」と「仮面の女神」の役割などについて、市教育委員会文化財課の吉村璃来さんから話を聞いた初日の講座

て集落の結束を強める役割
を果たしたことが想像される
とし、「その最終的なものが『仮
面の女神』の埋納だったのだ
る」をテーマに、市教育委員
会文化財課の若手職員2人が
講演。27人が受講し、縄文人
の暮らしぶりや土偶に込めら
れた思いなどを学んでいる。

初日の講師は吉村璃来さ
ん。「土偶の埋納」と題して
話した。

「縄文のビーナス」は粘土
のつなぎ方や焼き方などに高
い制作技術が必要だつたと紹
介。県内外の遺跡から「縄文
のビーナス」をモデルにした
とみられる「コピー土偶」が
数多く見つかっていることか
ら、作られてから長きにわた
って祭りに使われ、遠方から
訪れた人も見ることができた
可能性があり、その後、集落
の中央近くの墓域に埋納され
たと考えられていると説明し
た。

「仮面の女神」は縄文後期
前半に作られ、寒冷化で生活
環境が悪化するとともに、中
部高地の遺跡が急激に減少し
ていく時期と重なつたと解説
した。墓と考えられる土坑に
埋納されており、各地では葬

る。講師を務める。「民族誌と縄
文文化研究」の内容で講演す
る。